

令和4年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）

次 第

日時：令和4年6月20日（月）午後2時～

場所：東温市総合保健福祉センター 3階 大会議室

1．開会

2．あいさつ

3．協議・報告事項

（1）令和3年度事業報告及び計画の評価等について

・・・・・・・・・・【資料1】、【資料2】

（2）地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る公共交通計画について

・・・・・・・・・・【資料3】

（3）令和3年度歳入歳出決算報告について

・・・・・・・・・・【資料4】

（4）その他

4．閉会

< 事前送付資料 >

【資料1】 令和3年度事業報告書

【資料2】 地域公共交通計画の評価等結果の様式

【資料3】 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る公共交通計画

【資料4】 令和3年度歳入歳出決算報告

令和4年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会(東温市地域公共交通会議)

出席者名簿

	団体	役職	委員	備考
1	東温市	副市長	大石 秀輝	
2	株式会社伊予鉄グループ	取締役	竹中 由紀夫	代理:岡田 好功
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	
4	愛媛県バス協会	専務理事	稲荷 和重	欠席
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	谷口 政賀津	欠席
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	金倉 弘武	欠席
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	小野 昌浩	
8	東温市産業建設部	部長	上岡 浩二	
9	東温市区長会	会長	三棟 義博	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	東 正史	
11	東温市婦人会	会長	萩原 貴美子	
12	東温市PTA連合会	顧問	松本 司	
13	東温市社会福祉協議会	会長	菅野 邦彦	
14	市民の代表(公募)		森 善政	
15	市民の代表(公募)		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通課長	猪川 泰道	
17	伊予鉄道労働組合	書記次長	藤本 孝	
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	菊池 勝二	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	一色 利彦	欠席
20	愛媛県	中予地方局 地域政策課長	洲之内 豊明	

令和4年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 令和4年6月20日 14:00～15:00

会 場： 東温市総合保健福祉センター 3階 大会議室

1. 開会

進 行： これより令和4年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。

2. あいさつ

会 長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 令和3年度事業報告及び計画の評価等について

事 務 局： <説明【資料1】>
<説明【資料2】>

会 長： ただいまの資料1の令和3年度事業報告書の説明について、何か質問はないか。

横 手： 2番のパーク&ライドについて再度確認したい。南方の実績は何台だったか。

事 務 局： 令和3年度の実績は5台であった。

横 手： パーク&ライドの運用は土日だけか。

事 務 局： 本庁と支所のパーク&ライドは、土日祝日の閉庁時のみとなっている。南方については、年中無休である。

横 手： 土日祝日のみの仕様だと、利便性に疑問がある。
平日も含めた仕様を検討し、山間路線の利用増進を進めて欲しい。

事 務 局： 利用促進に向けて関係部署と連携し、検討して参りたい。

会 長： 南方は6月13日現在での実績が55台か。

事 務 局： 令和4年の3月末までの実績が5台で、令和4年4月1日から6月13日までの実績が55台となっている。

会 長： 他にご意見はないか。

菊 池： スマートフォン教室の参加者からはどのような声が上がっているか。また、今後の展開についてもお聞かせいただきたい。

事 務 局： “わかりやすかった”という感想の報告は受けているが、それを活用した外出事例の有無についての報告は受けていない。今後も出来る限り、事業を拡大していきたい。なお本年度は、現時点で2講座の開催を決定しているが、できれば更にもう1講座(合計3講座)の実施を目指して、担当課と調整中である。

会 長： 他にご意見はないか。

東 東： “ジョルダン”とはどういったものか。

事 務 局： ジョルダンとは民間の会社で、乗換の検索システムを運用している。現在地と目的地を入力することで、“ 時の 線の電車に乗って、 時の 線のバスに乗り換える”など、行程経路を算出し、スムーズな乗換を表示するシステムである。アプリでも、インターネットからでも利用が可能で、スマートフォンやパソコン、タブレット等から閲覧が可能となっている。

会 長： 他に意見は無いか。

会 長： それでは、次に資料2の地域公共交通計画の評価等結果について、何かお気付きの点があればお伺いしたい。

案内のとおり、行動制限の掛かる状況下で、芳しくない数字があがっている。皆様のご意見を伺いたい。

菊 池： 評価について、事務局より報告があったが、先般の(フィーダー補助事業の)二次評価で示された内容についての取組もお進めいただきたい。

会 長： それでは、事務局の案で国へ報告してよろしいか。

各 委 員： 承認

会 長： それでは、資料2のとおり、国へ報告する。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る公共交通計画について

事 務 局： <説明【資料3】>

会 長： ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

会 長： それでは、質問等も無いようなので、事務局の案で国へ申請してよろしいか。

各 委 員： 承認

会 長： それでは、資料3のとおり、国へ申請する。

(3) 令和3年度歳入歳出決算報告について

事 務 局： <説明【資料4】>

会 長： 監査結果の報告を、萩原委員よりお願いしたい。

萩 原： 令和4年6月8日に監査を実施したので報告する。令和3年度東温市地域公共交通活性化協議会の会計事務について監査した結果、適正に処理されていることを認める。

会 長： ただいまの決算報告の説明について、何か質問等はあるか。

会 長： それでは、質問等も無いようなので、令和3年度歳入歳出決算報告について、承認してよろしいか。

各 委 員： 承認

会 長： それでは、令和3年度歳入歳出決算報告については、資料4のとおり、承認をいただいた。

(4) その他

会 長： 会を通して全体的な意見や、報告事項等はないか。
よろしければ、伊予鉄バスさんの現況について伺いたい。

岡 田： 現状について報告する。このところ、新型コロナウイルスの話題ばかりで辟易している。しかし、コロナ感染者が一定数いるものの、落ち着きは見せているという感想を持っている。

会社としては、2021年度は規模を縮小したものの、結果としては赤字であった。感染者の増加と共に利用者数が減少するという状況が続き、感染者数の増減に伴った、利用者数の増減を繰り返した1年となった。主に路線バスにおいては、年間を通算すると2019年度の6割近くまで回復し、繁忙期については、感染者数の増加時期と重なり、5割以下という結果で推移した。

2022年度は春休み頃から高速バスを始めとして、回復を見せている。路線バスも7割、8割くらいの回復を見せている。

他の事業者についても、7、8割くらいの回復と聞いている。このまま落ち着いて推移していけば、昨年ほどの結果にはならないと思われる。我々としても、今の路線を維持していきたいと考えているが、2019年の水準以上の回復は難しいというのが、業界としての感想である。その中でも東温市にもご協力の上、乗り方教室の実施等地道な活動も含めて取り組むことで、利用の推進を図り、利用者増加を目指したい。

また、先般報道発表させていただいたが、今年度EVバスの導入予定がある。バスはマイカーと比べて環境に良いとは言われつつも、軽油を燃料としており、加えて原油価格が倍近くまで上昇しており、カーボンニュートラルも意識しつつ燃料費の削減につながると考え、導入を予定している。

今回の1両は、川内線への導入を検討しており、体験教室での活用等、バスの周知に繋がればと考えている。

会 長： EVバスの乗車可能数は。

岡 田： 大型で80人程度となっている。

会 長： それでは、みんなの公共交通を考える会さんの現況はいかがか。報告事項

等があればお願いしたい。

横手： 昨年度は、感染が拡大していない時期を見計らって、5回ほど実施した。会員のみの10人少々で実施。春に2回、秋に3回。川内西国33か所巡りを実施し、11か所を巡った。3月には源田桜を見たり、5月には初めて井内地区を訪れたりなどした。井内地区と河之内地区は”つなぐ棚田遺産”に認定されるなど、東温市の見どころの一つ思う。6月23日、白猪の滝口を訪れる予定もある。別団体の話ではあるが、えひめ森の案内人の会というボランティア団体において、6月18日にさくらの湯周辺や川上断層を路線バスでも参加できる企画にして開催した。昨年度、県のリモートワークで地域公共交通活性化セミナーに参加した際、魅力的な行き先を訪れるために公共交通を利用することの大切さを学習した。東温市内においては、井内地区においても松瀬川地区においても、地元の方々が熱心に活動されており、河之内地区ではフランス料理店ができるなど、とても力を入れている。

しかしながら、バス利用の促進において、乗車を進めるばかりでなく、行先・目的地の環境整備にも目を向けて欲しい。水回り等を含めた環境について、都市整備課だけでなく、観光振興の部署やその他と連携して、環境整備を含めた利用促進をしていくことが大事だと認識した。

よい訪問先はたくさんあるので、この地域資源を利用しないのはもったいない。ありがたいことに現在はバスが通っているので、地区外の方が観光に訪れやすい環境にあるので、有効に活用していきたい。

先般、包括支援の認知症に関する会議に参加させていただいた折、クリニックの先生が“免許返納を希望する中で、返納した後の足がないという声をよく聞く。そういったお声に対しては、行政の支援が必要ではないか”と話していた。包括支援センターや長寿介護課と連携して、バス・タクシー等の活用に取り組んでいただきたい。

会長： 実際に活動されている中での貴重な現場のご意見は有難い。
今後の活動の参考にさせていただく。
その他にご意見等はないか。

萩原： 東温市婦人会からひと言。婦人会も年々高齢化しており、参加者が少なくなっている。横手委員からもお話があったように、移動手段がないために参加が叶わないという方が増えている。東温市婦人会は今年度は147名の会員で、川内公民館を中心に活動しているが、活動に参加しているのは3分の1程度で、活動に参加できない状況の方もいる。どうにか川内公民館

まで出て来られたら、活動への参加は可能という方も多いため、公民館までの移動手段を思案している最中である。タクシー等を安価に利用する方法など、公共交通機関を利用できたらと考えている。できる限り、家に閉じこもることなく、外に出て多くの人と関わりを持てる環境を築いていきたい。

本日初めて地域公共交通活性化協議会に参加させていただいたが、婦人会としても、今後も積極的に関わっていきたいと考えている。

会 長： 高齢化による移動の問題というのは課題の一つ。教育委員会とも協議しながら取り組んで参りたい。

他にご意見等は無いか。

菊 池： 地域資源を活用した取り組みを、ひとつずつ積み重ねていくことで、利用の促進につながるものと思われる。コロナ禍で厳しい状況であるが、目標達成に向けて、できる限りの協力をお願いしたい。また、燃油高騰の折、自治体から旅客運送事業者への支援もお願いしたい。

会 長： 他にご意見等は無いか。

横 手： 追加で報告したい。今年の夏の活動で、東京や大阪方面から来訪者を迎えて、俳句の吟行を開催したいとの要望がある。内容としては、路線バスで滑川に赴きたいとのこと。開催自体確定ではないが、現在進行中の案件として報告する。先ほど、岡田委員から報告のあったEVバスの導入についても、楽しみの一つとして認識している。

4. 閉会

進 行： それでは以上で本会議を閉会する。